



2017-2018

2017-2018年度 RI テーマ

「ロータリー：変化をもたらす」

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

富山南ロータリー

Rotary 



ロータリー：
変化をもたらす

第2653例会 Toyama South Rotary Club Weekly

H30. 6.22 No. 45

創立/1963(昭38)12.20 承認/1964(昭39)6.24 会長/山地 清 幹事/長谷川 靖 会報委員長/中勝篤司

本日の予定 (6月22日(金))

◆例会変更 / 年度末懇親会

時間 開会点鐘 18:30~

例会後 懇親会

場所 ANAクラウンプラザホテル

◆年度末親睦ゴルフコンペ

場所 小杉カントリークラブ

AM 9:16 スタート

次回の予定 (6月29日(金))

■ 山地会長・長谷川幹事 退任挨拶

■ 現・新 会長・幹事 バッチ交換

ロータリー・レートのお知らせ

国際ロータリー為替レート 6月 1ドル110円

6月はロータリー親睦活動月間です

前例会の記録

2652回

平成30年6月15日(金)

司 会 藤谷 SAA

開 会 点 鐘 山地会長

ソング斉唱 「それこそロータリー」

四つのテスト唱和 中条職業奉仕理事

会 長 挨拶 山地会長

幹 事 報 告 長谷川幹事

委 員 会 報 告 本谷親睦委員長

ニコボックス紹介 押田親睦委員

出 席 報 告 牧野出席委員長()はメイクアップ

当 日	6/15	38(13)56	67.86%
例会修正	6/1	40(6)56	71.43%

結婚記念日のお祝い 梅田雄一朗さん 6/24

卓 話

公益財団法人 オイスカ

事務局次長 山本広志 氏

演題: 「オイスカとは?」

閉 会 点 鐘 山地会長

ニコBOX



お誕生日のお祝い

高見之信さん 6/20 工藤 治さん 6/20

古野克彦さん 6/24 野垣俊幸さん 6/30

山本さん宜しくお祈りします 山地 清
 80歳の誕生祝いを頂きまして 野垣俊幸
 山本さん、オイスカの卓話
 宜しくお祈りします 高見之信
 誕生日のお祝いをありがとうございます 工藤 治

7月例会プログラム

7月6日 定例理事・役員会 臨時総会

新任挨拶 会長・幹事

13日 例会変更: 夜間例会

新年度懇親会・ゴルフコンペ

20日 新任挨拶 理事・役員・委員長

27日 会員卓話 榎黒川製作所

代表取締役社長 黒川伸一 氏

『夜間例会 / 新年度懇親会・新年度ゴルフコンペのご案内』

平成30年7月13日(金)

●例会変更 / 新年度懇親会

時間 例会 18:30~ 例会後 懇親会

場所 富山第一ホテル 13階 ルミエール

会 費 8,000円

●新年度親睦ゴルフコンペ

場所 呉羽カントリークラブ 日本海コース AM9:58 スタート

会 費 3,000円

(プレー代は各自ご負担下さい) ※表彰式は懇親会場にておこないます。



例会日: 毎週金曜日 12時30分~13時30分 例会場: 富山電気ビル4階「光の間」 事務所: 富山市桜橋通り3-1

富山電気ビル2階228号室 TEL(076)441-2351 FAX(076)441-2354 E-mail: rotary@toyama373.org

事務局携帯: 090-2375-1963 URL: http://www.toyama373.org/ 事務局執務時間 9:30~16:30

(6月15日 卓話)

公益財団法人 オイスカ 事務局次長 山本広志 氏

【プロフィール】

(公財) 高岡市民文化振興事業団事務局
エグゼクティブ・プロデューサー・事業課長
1957年生まれ。富山大学経営短期大学部卒。



(公財) 富山県文化振興財団職員として、富山県民会館、富山県教育文化会館、新川文化ホール、富山県高岡文化ホール等の各県立文化施設に勤務。劇場管理業務や、自主企画事業（美術展、教養講座、ホール自主公演など）を担当。

2009年4月～新川文化ホール館長、2012年4月～富山県高岡文化ホール館長、2017年4月～富山県民会館館長、2018年3月富山県文化振興財団退職。趣味は、家庭菜園、野外活動（キャンプ、山登り）、釣り（海、溪流）、蕎麦打ち、芸術鑑賞（クラシックが多い）。日本音響家協会北陸支部長（1級技能認定）、日本照明家協会会員（1級技能認定）、富山舞台技術研究会理事。日本ボーイスカウト富山県連盟理事、富山家庭裁判所家事調停委員、オイスカ富山県支部常任幹事・事務局次長等を務める。



オイスカ富山県支部
事務局次長 山本 広志

オイスカとは？

「産業を通じた人づくり、国づくり」を目指し、1961年に「オイスカ・インターナショナル」が発足し、公益財団法人オイスカはその理念を具体的に実践する機関として69年に設立。人材育成を柱に地域開発、環境保全など、国際NGO（非政府組織）としてアジア太平洋地域の開発途上国を中心に各地で活動を展開している。現在、海外17か国34拠点、国内4研修センター、14支部、46支援組織を有している。

The Organization for Industrial, Spiritual and Cultural Advancement-International

Organization（組織）、Industrial（産業）、Spiritual（精神）、Cultural（文化）Advancement（促進）
「産業、精神、文化という人間の存在に不可欠な3要素のバランスを保ちながら、世の中の発展を目指す」という基本理念が込められている。

黄色 水色 赤色 青色
黒色

富山県におけるオイスカのはじまり

1962年（昭和36年）に富山支部発足 元県知事 高辻武邦氏が尽力
会長 古田 実（県知事）、副会長 井村栄喜（不二製菓業者）、中田均三（富山市助役）他
1968年（昭和43年）オイスカ富山研修センター（旧大山町）開設 170名余の海外研修生を受け入れる。（～昭和60年まで）
1975年（昭和50年）富山県支部が設立（全国で2番目）

富山でのオイスカ活動の歴史

1976年（昭和51年）タイ国スリン県タソワン村の視察から始まる
田代農業指導員の来県→「富山ハウス」の完成
高岡での「タイ・フェア」、「アジア・太平洋青年幹部国際シンポジウム」の開催

現在の主な活動

- ・緑の植林協力隊「子供の森」計画支援
- ・天竺「緑の富山保全の森づくり」活動
- ・森のつみ木広場の出張、運営（とやま環境フェア、とうふふれあいフェスタ）
- ・活動報告会&講演会
- ・その他

会 員 企 業 紹 介

株式会社 OSCAR
代表取締役社長 兼 議長 藤谷弦一郎
(不動産販売)
富山市二口町 4-7-14 ☎ 422-4411
Fax 422-8775

株式会社 若林商店
代表取締役専務 赤瀬弘行
(紙販売)
富山市白銀町 2-5 ☎ 423-1148
Fax 424-0909

I.D.M (インフォーマル ディスカッション ミーティング) 議事録

今回のテーマ「あなたにとってロータリーとは」

日程 6月11日(月) 12日(火) 13日(水) 18日(月) 19日(火) 5日間
時間 午後6時30分～午後8時30分
会場 富山電気ビル4階 6号室



【日時】 2018年 6月11日(月) 18:30～20:30
【場所】 富山電気ビル4階 6号室 富山市桜橋通り3-1
【テーマ】 「あなたにとってロータリーとは」
【出席者】 ◎古野克彦 草野寛行 寺林征 柴草甚敦 山本肇 松永豊
押田通 本谷博幸(書記)

*入会の浅い順に発言していただきました。

押田 吉田さんの紹介により丸2年になります。かつて商工会議所に属し、いろいろな誘いがあったが当会に決めました。そうそうたるメンバーが在籍し、いろいろ勉強になっています。ロータリーの精神「四つのテスト」は素晴らしいと思います。

本谷 杉本さんと津島さんに誘われました。恥ずかしながら当時「ロータリー」の名称すら知らず、初参加の時は明らかに場違いだと思いました。しかしながら今日まで叱咤激励を受け続け、今年度は親睦委員長として通常の業務では味わえない貴重な経験をさせていただきました。自分にとって「ロータリー」とはステータスであり、モチベーションアップにつながっています。

松永 ロータリーはフレンドシップ、つまり会員その人から学ぶ場です。職業奉仕の場です。いろいろな人の話を聞いて元気を感じています。「人のふり見てわがふり直せ」ではありませんが、外から見る目を養う場でもあります。年下の会員に先輩扱いされますが、そんな意識はありません。自論は、「社会人は対等であり、自分がその年齢に達した時若い人に何が出来るか」です。

「四つのテスト」の中の「公平」は「公正」が正しいと思います。
山本 交流を深める場です。自己研鑽の場であり、いろいろな考え方を学んでいます。ロータリーで難しいのは「社会奉仕」で、体を動かす活動がライオンズに比べて少なく、よくつかめていません。「職業奉仕」のほうが強いと思います。

柴草 土地さんに誘われて入会して16年になります。JCを卒業して考えたのは何かの会に属さないといろいろな面で寂しい(暇)だと思いました。親父がライオンズでいきいきとしている姿を見て、自分はロータリーを選びました。当会でいろいろな人と知り合えて学んでいます。何らかの形で社会に還元したいと思っています。

寺林 ロータリーには3つの要点があります。
① 異業種の集まり 職場、業界だけの狭い世界からの解放----公私共に助けてもらっています。
② 四つのテスト 自分はこれにほど遠いと思うし毎回音読する度に後悔しています。
③ 懇親会 いろいろな会話が弾んで楽しいです。
寄付についてですが第三国家の人を個人的に援助しても意味がありません。その国のリーダーを育てなければなりません。

草野寛 「社会奉仕」 ----ロータリーは仏教に似ています。

「慈悲の心」 ----ロータリーで勉強になっています 5~6年前の高松南ロータリーのイラン人の会長さん（じゅうたんとおリーブオイル {あの日野原重明さんが愛用されていました} が生業）がこの度出版しました。その中に「人を憎まない」「お陰様で」とあります。多いに学べます。

古野 ロータリー歴26年でシティーの中田明男さんに誘われました。彼が最初にこえを掛けてくれました。自社に営業部門がなく、「外を知りたい」という願望があり、最初に声を掛けてくれた人に付き合うつもりでした。誘われた時が入会するときだと思います。40歳でした。面接は、「五万石」で故 松井元太郎氏、中田さん、北銀専務に受けました。

リードケミカルの森さんや靴屋の岩倉さんらから商売の発想を学びました。

自らの生業をしっかりとやればそれが「社会奉仕」だと思います。「四つのテスト」は素晴らしい

松永 学生時代、東亜薬品の当時の専務に入社を勧められました。これが後の南ロータリーにつながっており、縁を感じます。

いろいろな話を聞き、その人の考え方を斟酌して自分に取り込むよう努めています。

古野 ロータリーの拡大路線は時代に逆行しています。

草野寛 「自分が正しい」と思うから争いがおこる。

「なまくら者には暇がない」（謙遜しておられました。）→でもロータリーに足が向く→魅力があるから

「迷う」のは心が2つあるから

「悟る」のは心が1つだから

古野 「職業奉仕」として漏水はボランティアに直しています。

山本 毎年大宰府天満宮に願掛けに行っています。

松永 自分が地域の「歯車」になりたい、下請けだと思っていません。そこの人々が潤うようにしたいです。ただお金を出すだけが「社会奉仕」ではないです。

以上敬称略